

食品安全委員会が収集したハザードに関する主な情報

○その他—その他

欧州食品安全機関(EFSA)、リスクコミュニケーション用インフォグラフィックス「リスク評価 vs リスク管理：違いは何か？」を公表

公表日：2014年4月16日 情報源：欧州食品安全機関(EFSA)

<http://www.efsa.europa.eu/en/press/news/140416.htm>

欧州食品安全機関(EFSA)は4月16日、一般向けリスクコミュニケーションの資料として、「リスク評価 vs リスク管理：違いは何か？」と題するインフォグラフィックスを公表した。

1. リスク評価業務とリスク管理業務を分離するというわずか 10 年前の決定は、欧州の食品安全を一変させた。これによりフードチェーンの安全性が強化されたと広く認識されるようになったが、リスク評価機関とリスク管理機関の違いに関しては、あいまいなところが依然として存在している。

2. 役割の分離

(1)これら2つの機関の重要な違いは何か？リスク評価機関は、フードチェーンにおいて考えられる脅威について独立した科学的助言を提供する。リスク管理機関は、そのような問題に対処するための基礎として、この助言を利用する。欧州域内において、評価と管理の分離は重要とされ、法律で守られている。これは、科学と政治を明確に区別し、科学に基づく独立した評価により、政策決定を行うために導入された。

(2)EFSA は、欧州の食品の安全を確保する上で重要な役割を果たしている。しかし、EFSA は、多くの様々な協力機関を含む欧州連合(EU)の枠組みの一部分に過ぎない。EFSA は、フードチェーンにかかわる脅威を評価する、欧州における主要なリスク評価機関である。リスク管理機関は、欧州委員会(EC)、EU 加盟国の諸機関及び欧州議会である。これらのリスク管理機関は、EFSA の科学的助言に基づき、食品に関する政策の策定、製品の認可及び立法に責務を負っている。

3. 認可ではなく助言

(1)例として、EFSA は、申請のあった遺伝子組換え生物(GMO)の安全性を一件一件評価する。EFSA の役割は、そこで終了する。各 GMO を認可するかどうかを決定するのは、EC 内のリスク管理機関及び加盟国内のリスク管理機関である。他の分野においても同様であり、2、3 例を挙げると、ネオニコチノイド系のような農薬、食品包装に使用される食品接触材料、及び飼料添加物がある。それぞれの場合において、EFSA は科学に基づく独立した助言を提供し、リスク管理機関は、EFSA の結論を根拠としながら、適切な措置について決定する。

(2)EFSA は、どのように業務を行うのか？EFSA の科学者らが実験を行い、その結果を EFSA の科学的意見の根拠として用いるというのは誤解である。EFSA は研究所を持たず、新たな科学研究も行わない。その替わり EFSA は、EU の法令の定めるところにより、既存の研究及びデータの収集を任務としている。EFSA の科学者らは、このような情報を分析し、リスク管理機関による意思決定を支援するための科学的助言を作成する。

インフォグラフィックスでは、食品添加物の再評価の過程等を例に挙げ、リスク評価機関とリスク管理機関を色分けして、それぞれの役割などをイラストで分かりやすく説明している。このインフォグラフィックスは以下の URL から入手可能。

<http://www.efsa.europa.eu/en/RiskARiskM/docs/InfographicsRiskARiskMprint.pdf>

○関連情報(国内)

・食品安全委員会パンフレット(2013)、日本の食品安全を確保する仕組みを説明

http://www.fsc.go.jp/sonota/pamphlet/2013/pamphlet2013_japall.pdf

※詳細情報及び他の情報については、食品安全総合情報システム(<http://www.fsc.go.jp/fscis/>)をご覧ください。

Risk Assessment vs Risk Management

What's the difference?

リスク評価機関

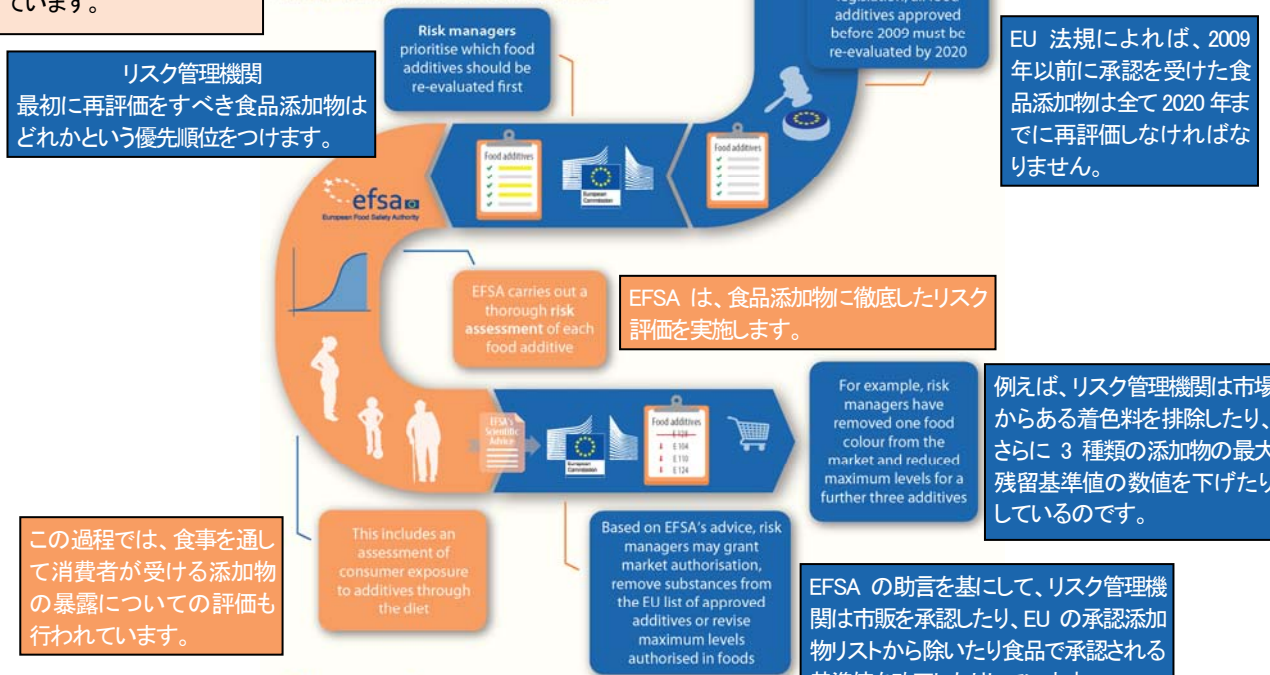
EFSAはリスク評価機関で、フードチェーンに関わる様々なリスクを評価しています。EFSAは研究所を持たず、新しい科学的研究も行っておりません。EFSAは既存の研究及びデータを収集したり、分析したりして、科学的助言を提供しています。そして、リスク管理機関が意思決定するのを支援しています。

リスク管理機関

リスク管理機関は欧州委員会(EC)、加盟諸国当局及び欧州議会です。これらの機関は食品安全に関する意思決定や規則策定を担っています。



In practice The re-evaluation of food additives



Other examples

リスク評価機関

EFSAは、ミツバチに対するある種のネオニコチノイド系農薬の安全性評価を実施しています。

EFSAは、GMOごとに一件一件、安全性を評価しています。

EFSAは、家きん類を扱う施設のサルモネラ汚染についてのデータをEU加盟国から集めて人の健康へのリスクを評価しています。

Risk Assessment	Risk Management	Risk assessment is
EFSA carries out risk assessment on safety of certain neonicotinoids for bees	Risk managers suspend use of certain neonicotinoids in EU	Providing scientific advice on food-related risks to support decision-making
EFSA evaluates safety of every GMO on a case-by-case basis	Risk managers decide whether or not to authorise each GMO	Risk assessment is NOT about
EFSA collects and analyses data from Member States on prevalence of Salmonella in poultry holdings and assesses risk for human health	Risk managers set reduction targets for Salmonella in laying hens in the EU	<ul style="list-style-type: none"> ✗ Policy making on food safety ✗ Setting or enforcing legislation ✗ Product approvals and authorisations, recalls and withdrawals ✗ Food labelling ✗ Food quality ✗ Trade issues, import/export controls, traceability ✗ Investigation of food fraud

リスク管理機関

リスク管理機関は、ある種のネオニコチノイド系農薬のEU域内における使用の中止を決定しました。

リスク管理機関は、GMOを承認するのか承認しないのかを個別に決定しました。

リスク管理機関は、欧州域内の採卵鶏におけるサルモネラ汚染を低減するためのターゲットを決定しました。

○リスク評価とは、食品に関わる様々なリスクに関する科学的助言を提供して、意思決定を支援することです。

○リスク評価では、次のことは行いません。

- 食品安全に関する政策決定、● 法律の策定、施行、● 製品の認可、承認、回収、撤回、● 食品表示、● 食品の品質、● 貿易問題、輸入/輸出管理、トレーサビリティ、● 食品偽装の調査